

2022年2月10日

SUBARU 「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント評価」において、 2年連続で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選出

株式会社 SUBARU は、国際環境非営利団体 CDP*1 が実施している「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント評価」において、昨年に引き続き最高評価である「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント・リーダー*2」に選出されました。

CDP サプライヤー・エンゲージメント評価は、「CDP 気候変動質問書」に回答した企業を対象として、当該企業が気候変動課題に対しサプライヤーとどのように効果的に協働しているかを評価するものです。具体的には、同質問書内の「ガバナンス」、「目標」、「スコープ 3 排出量算定」、「サプライヤーとのエンゲージメント」の 4 つの分野の質問への回答と、気候変動全体のスコアを考慮して評価します。全世界の回答企業の中で 2021 年のサプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選出されたのは、上位約 8%です(グローバルでは 500 社超、日本企業は 105 社が選定)。

SUBARU は、「SUBARU サプライヤーCSR ガイドライン」および「SUBARU グリーン調達ガイドライン」の遵守をお取引先の選定条件の一つとし、お取引先に環境マネジメントシステムの構築を要請しています。また、お取引先に対して当社の中長期的な経営戦略や品質・調達・生産・販売に関する方針を共有するための「方針説明会」を半期毎に実施するなど、お取引先と適切なコミュニケーションを行い、一体となって気候変動に対する取り組みを進めています。

SUBARU は今後も、人・社会・環境の調和を目指した持続可能な調達に向けた活動を推進していきます。

SUBARU グループの CSR 調達 <https://www.subaru.co.jp/csr/social/procurement.html>

SUBARU グループの環境対応 <https://www.subaru.co.jp/csr/environment/>

*1: 環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や企業・団体の要請に基づき、企業や自治体に対し気候変動対策、水資源保護、森林保全などに関する情報開示を求め、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営する非営利団体。

CDP ホームページ: <https://japan.cdp.net/>

*2: CDP2020 の最高評価の名称は「リーダーボード」。CDP2021 より「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に名称変更。



2021

CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント・リーダー ロゴ